

【概要報告】2024 年度 総会

- 日 時：2025 年 6 月 14 日(土) 午後 2 時から午後 3 時 5 分まで
- 会 場：サイプレスホテル名古屋駅前 2 階孔雀の間
- 出 席：42 名(理事 26 名、代議員 16 名)
 - 理 事：大塚耕平、横井俊広、廣田修二、小縣徹男、岡田三千雄、近藤安彦、河村禎之、大下孝、若松文彦、大家浩靖、神谷幸次、渡邊裕吉、後藤春幸、近藤努、戸川太輔、高垣政和、大津聡、石川裕貴、水越義雄、守屋一郎、縄田亮太、石原照三、浅井貞人、後藤圭三、桑村明美、石川和子、
 - 代議員：太田有紀(実業団)、種子田彰哉(実業団)、黒田伸浩(実業団)、杉山直人(高校)、竹島優太(高校)、佐藤弘樹(高校)、島佑輔(中学校)、横山知浩(中学校)、佐宗敬泰(中学校)、及川博之(中学校)、小島啓吾(中学校)、宗宮直人(ヤング)、田中健志(ヤング)、伊藤良奈(ママさん)、吉田和子(ママさん)、松下登美子(ママさん)
- 欠 席：24 名(理事 3 名、代議員 21 名)
 - 理 事：長谷川太一、脇坂康彦、西川浩然
 - 代議員：柴田園子(クラブ)、中倉翼(クラブ)、阿部裕一(クラブ)、氏原隆(大学)、北田豊治(大学)、箕輪憲吾(大学)、市野優子(高校)、岩田知也(高校)、門林徹(中学校)、白鳥勝也(小学校)、坂本武夫(小学校)、近藤真理子(小学校)、西崇秀(小学校)、河内章郎(ヤング)、石橋松男(ソフト)、新美忍(ソフト)、菅沼美穂子(ソフト)、杉浦宏和(ビーチ)、関寛之(ビーチ)、瀧上諒(ビーチ)、熊崎恵子(ママさん)
- 委任状：5 名(理事 3 名、代議員 2 名)
- 陪席者：8 名(監事 2 名、事務局員 6 名)
 - 監 事 奥村勝己、鬼頭勝政
 - 事務局員 藤森雄介、渡邊和貴、今井富美江、安永真由子、森田朋子、栗田香

司 会：大下事事務局長

1 開 会【大下事務局長】

- (1) 2024 年度一般社団法人愛知県バレーボール協会総会開会に際し総会の構成及び決議の確認をする。
- (2) 委任状表決者 5 名、出席者 42 名の計 47 名で、総代議員等数 66 名の過半数を満たしている。
- (3) よって一般社団法人愛知県バレーボール協会定款第 4 章第 23 条のとおり会議を開催し、議事を議決することができる。

2 会長挨拶【大塚会長】

本日は御多用の中、御出席に感謝申し上げます。来年のアジア競技大会開催を控え、本総会は重要な節目となるため、十分な御審議をお願いしたい。また、日頃より理事会運営に御尽力いただいている皆様に深く感謝申し上げます。今後はその御尽力が広く周知されるよう努めたい。

本日は、代議員の皆様からも御意見や御質問を積極的にいただければ幸いです。

3 議長選出【大下事務局長】

議長を大塚会長とする。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

4 議事録署名人の指名【大塚会長】

- (1) 定款に則り出席されている代議員の方から議事録署名人 2 名を指名する。
- (2) 高校代議員の佐藤弘樹氏と中学校代議員の横山知浩氏を指名する。

5 審議事項

(1) 第1号議案

ア 中期経営計画評価【小縣専務理事】

- (ア) U14 カテゴリーは、中学校バレーボール部の減少から多様な場で活動する選手の支援に注力し、大学と連携した教室の継続開催など成果があった。しかし、地域差による競技者拡大の難しさもあった。
- (イ) ガバナンスは、透明性向上に向けたガバナンスコードの策定や説明責任の強化を進めたが、コンプライアンス事案の根絶には至らず、さらなる体制強化が課題である。
- (ウ) ビーチバレーボールは、大会の定着や連盟との連携により裾野を広げ、強化の基盤を築くことができた。
- (エ) 財政面は、収支改善に努めたが収支バランスに課題が残り、継続的な改善が必要である。
- (オ) 法人化後の組織充実やマンパワーの発掘は、現在の体制で対応できない課題が明らかになり、今後も中長期的視点での改善が必要である。

以上から今後も競技者拡大と組織力強化を両輪に、持続的発展を目指していく。アジア競技大会に競技運営だけでなく多岐に関することで本県バレーボール熱と本会組織のレベルアップが可能となる。

イ 2024 年度運営基本方針評価【小縣専務理事】

- (ア) U14 カテゴリー普及活動は、多様な大会やチームが活発化し、選手たちの選択肢は広がった。しかし、大会運営の調整や選手育成に資する体制づくりなど改善点も明らかとなった。
- (イ) ガバナンスとコンプライアンスは、理事会での研修から法令遵守の意識が高まり、組織全体として前向きな変化が見られた。
- (ウ) 財政面は、(公財)日本バレーボール協会登録システム変更により予定していた年会費改定が実施できず、次年度に持ち越された。
- (エ) 経営体制強化は、事務局員の増員や業務の効率化を進め、スムーズな組織運営が実現できた。

今後も課題に向き合い、本会発展に努めていく。

ウ 2024 年度事業報告【大下事務局長】

- (ア) 財務検討委員会で付帯作業費を審議し、2月の第6回理事会で承認され、2025年度から自宅での本会業務従事に対し支給を開始している。
- (イ) 倫理委員会を多く開催した。
- (ウ) 事務局は、様々なバックオフィス業務に取り組んだ。
- (エ) 事業部は、SV、Vリーグの開催回数が非常に多く新たな人材の発掘と育成が課題となった。
- (オ) 各支部は、バレーボールの普及、健全かつ持続可能な大会運営、バレーボールに親しむ機会の設定、U14 カテゴリー層の拡大に取り組んだ。
- (カ) 競技委員会は、県内大会競技運営に課題があった。
- (キ) 審判委員会は、審判員の育成、技術向上、登録業務に取り組んだ。
- (ク) 強化委員会は、強化項目の整理と充実、ジュニアクラブチームとの連携強化に取り組んだ。
- (ケ) 指導普及委員会は、4月から12月まで延べ720名の方に参加していただき、バレーボール教室を開催することができた。
- (コ) 広報委員会は、情報発信連携強化と技術統計判定員の活動支援に取り組んだ。

代議員から以下の質問と要望があった。

「県内コーチ資格保有者数」と「可能ならホームページ等で公表」

理事から以下の回答があった。

「今年はコーチ資格を活用していない方を対象に、資格の有効活用を目的にリフレッシュ講習会を開催予定である。」

「他県で資格取得した方は把握できない。コーチ3及の年間取得者は約10名、コーチ4の年間取得者が1～2名程度である。資格更新状況は把握しておらず、その確認(公財)愛知県スポーツ協会への問い合わせが必要である。」

「本会に登録されている指導者資格保持者は現在82名である。」

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(2) 第2号議案

ア 2024年度正味財産増減計算書(決算書)【大下事務局長】

(ア) 一般会計収入の部

- α 参加費は、東海ブロック大会の参加費も計上したため増えている
- β 講習会受講料は、講習会の開催回数と参加者増によって収入が増えている。
- γ 補助金は、JVAからの法人格取得補助金とブロック大会の補助金、交付金を計上している。
- δ 雑収入は、支部及び県大会への協力金等を計上している。

(イ) 一般会計支出の部

- α 研究指導費は、講習会開催回数が増え支出が増えている。
- β 大会運営費は、参加費を改定したが、参加費で県内大会を運営することはできなかった。

(ウ) 一般会計収支

約770万円の損失である。

(エ) 特別会計収入の部

イベント収入は、AVAFESのチケット収入を計上している。

(オ) 特別会計支出の部です。

イベント運営費は、AVAFESの企画変更に伴う支出が増えた。

(カ) 特別会計収支

510万円の収益があった。

(キ) 当期純損益

一般会計770万円損失に特別会計収益510万で約260万円損失となった。

(ク) 昨年度予算計上で約440万円損失だったが、約260万円程度となった。

(ケ) 本会財務状況は、一般会計損失を特別会計収益で補填し、それでも損失があるため正味財産からさらに補填している状況である。

(コ) 年会費改定が喫緊の課題である。

イ 2024年度貸借対照表【小縣専務理事】

ウ 2024年度財産目録【小縣専務理事】

(ア) 現状の財務は安定しており大きなリスクや負債は見られない。

(イ) 正味財産が十分に確保されており、健全な運営がなされている。

(ウ) 財産目録は、貸借対照表の詳細が記載をされている。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(3) 第3号議案

2024年度会計監査報告【奥村監事】

ア 5月2日に協会事務所にて監事2名で監査を実施した。

イ 関係諸帳簿及び証拠書類に基づき監査した結果、その内容は適正かつ正確であったことを報告する。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(4) 第4号議案

ア 2025・2026年期役員【大下事務局長】

(ア) 理事及び監事の全員が、本定時総会終結と同時に任期満了し、退任することになる。

(イ) その改選の必要があり、2024年12月及び2025年1月に本会役員選出委員会を開催し、2025年・2026年期役員案を審議した。

(ウ) 2025年5月の第1回理事会で役員選出委員会役員案を審議し承認されたものを提案する。

(エ) なお、会長たる代表理事、副会長、専務理事、常務理事は総会終了後の第2回理事会で審議し決定する。

理事	大塚	耕平
理事	廣田	修二
理事	横井	俊広
理事	大下	孝
理事	近藤	安彦
理事	河村	禎之
理事	岡田	三千雄
理事	黒田	伸浩
理事	長谷川	太一
理事	中村	拓矢
理事	大家	浩靖
理事	神谷	幸次
理事	渡邊	裕吉
理事	近藤	努
理事	首藤	隆宏
理事	高垣	政和
理事	石川	裕貴
理事	大津	聡
理事	水越	義雄
理事	守屋	一郎
理事	縄田	亮太
理事	佐藤	弘樹
理事	浅井	貞人
理事	後藤	圭三
理事	佐々	暁則
理事	山田	浩子
理事	西川	浩然
理事	石川	和子
理事	小縣	徹男
監事	奥村	勝己
監事	後藤	春幸

イ 2025・2026 年専従役員【大下事務局長】

2025・2026 年専従役員も役員選出委員会及び 2025 年度第 1 回理事会において審議し承認された大下孝氏を専従役員とすることを提案する。

なお、被選定者のうち出席した理事及び監事は、席上その就任を承諾した

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(5) 第 5 号議案

ア 2025 年度運営基本方針【小縣理事】

(ア) U14 カテゴリー層の競技者普及活動に注力する。公立中学校部活動地域移行の観点から県内各地域で段階的にバレーボール環境の整備を進める。

(イ) 経営体制強化と財政安定化を図り、持続可能な組織運営を目指す。

(ウ) 人材や財務面を含めた組織改革を推進していく。

(エ) ガバナンス及びコンプライアンス強化は、単年度だけでなく組織の透明性と法令遵守を一層高めていく。

(オ) 2026 年開催のアジア及びアジアパラ競技大会に向け普及の観点からも積極的に協力していく。

以上から 2025 年度も地域とともにバレーボールの発展に努めていく。

イ 2025 年度事業計画

(ア) 事務局は、財務検討委員会とともに年会費の改定に取り組む

(イ) 事業部は、9 月に愛知バレーボール FES を開催する。これはアジア競技大会に向けたテストマッチとなる。11 月に全日本バレーボール高等学校選手権大会愛知県代表決定戦を開催、10 月から 2026 年 4 月まで SV.V.LEAGUE 愛知大会の円滑な運営を各委員会と連携、協力し取り組む。

(ウ) 各支部は、各委員会及び各専門部と協力及び連携をとりながらバレーボールに対する意識向上や環境や機会の提供、低年齢層の拡大、健全で持続的な大会運営に取り組む。

(エ) 各委員会は、重点目標を達成すべく、大会運営、強化事業、指導普及、情報発信に取り組む。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(6) 第 6 号議案

2025 年度正味財産増減計算書(予算書)【大下理事】

ア 一般会計収入

(ア) 補助金は、(公財)愛知県スポーツ協会からのリフレッシュ講習会と、今年度は(公財)日本バレーボール協会の法人支援金を計上した

(イ) 雑収入は、審判派遣費とミズノ業務委託料を計上した。

イ 一般会計支出

(ア) 研究指導費は、講習会の回数等に伴う増加である。

(イ) 大会運営費、各支部費、旅費は、今年度から支給する付帯作業費支出計上のため増加である。

(ウ) 役員会合費は、総会後の懇親会と 12 月開催の東海バレーボール連盟理事会及び総会開催による増加である。

(エ) 全国ブロック大会は、7 大会 140 万円を計上した。

ウ 一般会計収支

約 700 万円の損失である。

エ 特別会計収支

約 540 万円の収益である。

オ 当期純損益

一般会計約 700 万円の損失、特別会計約 540 万円の収益で約 160 万円損失計上である。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

6 その他【大下事務局長】

この機会に代議員の方から質問、要望、意見を伺いたい。

(1) 代議員から以下の要望があった

「愛知県のジュニアカテゴリーはレベルが高く、参加をためらう子どもが多い。より気軽に参加できる大会の開催」

(2) 理事から以下の回答があった。

「ジュニア層には多様なチームがあり、競技普及の観点から勝敗にこだわらない大会の開催も必要と考える。多様なチーム状況に対応できる環境整備が課題である。」

(3) 代議員から以下の質問があった。

「実業団チームに地域クラブから指導依頼があるが、資格を保有していないため対応できない。バスケットボールは資格保有者が多く、U-14 チームも多いと聞く。バレーボールは今後どのように対応すべきか。」

(4) 理事から以下の回答があった。

「バスケットボールやサッカーは独自資格制度がある。バレーボールは（公財）日本スポーツ協会の資格のみである。アンダーカテゴリーは保護者対応も含め課題が多く、人材発掘や講習会開催又行政との連携が必要と考える。」

「過去 10 年間で約 700 名に資格を付与した。更新済みは約 500 名と推定する。資格を活かしていない方も多く今年度は（公財）愛知県スポーツ協会と連携しリフレッシュ講習会を開催予定である。埋もれた指導者の発掘とマッチングに取り組みたい。」との回答があった。

7 挨拶【大塚理事】

長時間の御審議に感謝する。現在の理事体制は、本日の総会決定を受けこの後の第2回理事会で代表理事等を決定する。本会は歴史が長く制度や運営面に修正の必要があるが、小縣専務理事を中心に改革を進めてきた。役員改選で小縣氏は、専務理事を退任し今後は一理事として御協力いただく。これまでの貢献に感謝申し上げ御本人より御挨拶をいただきたい。

【小縣理事】

事務局長及び理事長として約 20 年間本会運営に関わってきた。国際大会運営や法人化など変化の大きい時期を経験し、本会も次の段階に入ると考えている。今後は部活動の在り方や各種カテゴリーの課題に対応しながら、さらにバレーボールが発展すると期待している。今後は 2026 年アジア競技大会の組織委員会に所属する。皆様の長年の支援に感謝申し上げ、今後はアジア競技大会で関わる機会を持ちたいと考えている。ありがとうございました。

8 閉会【大下理事】

以上で 2024 年度一般社団法人愛知県バレーボール協会総会を終了する。